

JIS

布層コンベヤゴムベルト

JIS K 6322 : 2022

(JBMA/JSA)

令和 4 年 1 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
	(委員) 安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈 良 広 一	長野計器株式会社
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	松 橋 隆 治	東京大学
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 28.5.25 改正：令和 4.1.20

官 報 掲 載 日：令和 4.1.20

原 案 作 成 者：日本ベルト工業会

(〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町 3-3-10-409 TEL 06-6229-0470)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号及び単位	3
5 種類	4
6 構造	4
6.1 ベルトの断面構造	4
6.2 布層の継ぎ	5
7 寸法及び寸法許容差	5
7.1 ベルトの幅及びその許容差	5
7.2 ベルトの長さの許容差	5
7.3 ベルトの厚さの均一性	6
7.4 カバーゴムの厚さの許容差	6
8 性能	6
8.1 カバーゴムの特性	6
8.2 ベルトの特性	7
8.3 剥離強さ	7
8.4 トラフ性	8
8.5 ベルトの直線性	8
9 試料の採取及び寸法の測定	8
9.1 試料の採取	8
9.2 寸法の測定	8
10 試験方法	9
10.1 カバーゴムの引張試験	9
10.2 カバーゴムの老化試験	9
10.3 カバーゴムの摩耗試験	9
10.4 ベルトの引張試験	9
10.5 剥離試験	9
10.6 トラフ性試験	10
10.7 ベルトの直線性の測定	10
11 製品の呼び方	10
12 表示	11
12.1 製品の表示	11
12.2 包装の表示	11

	ページ
附属書 JA（参考）JIS 対応国際規格との対比表	12
解 説	14

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ベルト工業会（JBMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 6322:2018** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

布層コンベヤゴムベルト

Conveyor belts—

Specification for rubber covered conveyor belts of textile construction

序文

この規格は、2013年に第2版として発行された **ISO 14890** を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。**ISO 14890** では“試料の採取”、“寸法の測定”及び“試験方法”については、それぞれ個別に存在する **ISO** 規格を引用する構成になっている。**ISO** 規格の体系に合わせて個別の対応規格があるものは別途制定し、この規格はそれらを引用する形にしている。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、ベルト表面が平滑な形状で、単層及び多層の布芯体を用いたカバーゴム付きの、一般用途の布層コンベヤゴムベルト（以下、ベルトという。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14890:2013, Conveyor belts—Specification for rubber-or plastics- covered conveyor belts of textile construction for general use (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS K 6200 ゴム—用語

JIS K 6251 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—引張特性の求め方

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 37**, Rubber, vulcanized or thermoplastic—Determination of tensile stress-strain properties

JIS K 6257 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—熱老化特性の求め方

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 188**, Rubber, vulcanized or thermoplastic—Accelerated ageing and heat resistance tests

JIS K 6264-2 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—耐摩耗性の求め方—第2部：試験方法